

子どものSNS等インターネット利用での 被害やトラブルを防ぐためのフォーラム

SNS等インターネットの利用は私たちの生活に欠かせないものになってきています。また、インターネットは子どもにとっても物心がついた時から身近に利用され、最近では学習面でも活用が増えてきています。

一方、インターネットの長時間利用やゲームでの高額な課金、見知らぬ人と会って被害に遭うなど、子どもが被害やトラブルに巻き込まれる事例も起こっています。

そこで、被害やトラブルから子どもたちを守るため、私たち大人が子どもたちの現状を知り、家庭での話し合いやルールづくりに活かせるよう、動画配信によるフォーラムを開催します。

参加
無料

配信方法 YouTube（申込者に限定公開）（※裏面参照）

※お申込みいただいた方のみご視聴いただけます。

※オフィスや自宅等、Web環境のある場所でご視聴ください。

※オンライン視聴される際のインターネット接続費用、通信費用等は参加者にてご負担ください。

配信期間 令和3年3月26日（金）～3月31日（水）

第1部 講演・保護者との対談 「SOSを発しない子どもから学ぶ ～SOSに気づき、つながるために～」

内容：保護者が子どものSOSへの気づきや子どもとの接し方について学び、家庭でのルールづくりに活かしていくための講演

講演

講師 **森本 志磨子** 弁護士/NPO法人子どもセンターぬっく 理事長
(経歴)

弁護士として性被害事件や虐待を受けた子どもの代理人活動等に注力し、居場所のない子どものための緊急避難場所(シェルター)を運営する等、被害等を受けた子どもに対する支援に精通。

対談

森本 志磨子弁護士・保護者代表

第2部 トークセッション 「子どものインターネットの長時間利用について考える」

内容：学識経験者が保護者とともに考え、家庭での実践に活かすためのトークセッション

トークセッション

学識経験者・保護者代表

学識経験者

曾良 一郎 神戸大学 教授

ネット・ゲーム依存研究

(経歴)

1986年

岡山大学大学院医学研究科博士課程修了

1991年

米国国立衛生研究所にて薬物依存の研究

2002年

東北大学大学院医学系研究科精神・

神経生物学分野教授

2013年～現在

神戸大学大学院医学研究科精神医学分野教授

2018年～

神戸大学病院にてインターネット・ゲーム依存の

専門外来を開始

竹内 和雄 兵庫県立大学 准教授

子どものネット問題研究

(経歴)

公立中学校で20年間(途中小学校も兼務)勤務の後、市教委を経て2012年から現職。

生徒指導を専門とし、ネット問題、いじめ、不登校など課題を持つ子どもへの対応方法について研究している。

文部科学省、総務省等でネット等の委員を歴任。

第3部 大阪府の施策紹介 「インターネットをきっかけとした被害に遭わないために」

・「SNSにおける誹謗中傷の解消に向けての取組」

大阪府 府民文化部 人権局人権擁護課

・「おおさかSNS子ども安心サイトについて」

大阪府 青少年・地域安全室 青少年課

主催

大阪府 青少年・地域安全室 青少年課

